

隣接医学系（全身と疾患）

4 年次 後学期	授業科目責任者：坂巻 達夫（内科学） ユニット責任者：坂巻 達夫（内科学）
----------	--

学習の目標 (GIO)	歯科診療において全人的医療を遂行する上で必要な医学的知識を理解する。
授業担当者	法医学： 小室歳信、眼科： 崎元 暢、産婦人科： 永石匡司、小児科： 宮本幸伸、精神・神経科学： 太田克也、 織田健司、 野口 海
教科書	法医学：臨床のための法医学 第6版・小室歳信，澤口彰子ほか・朝倉書店 事例・判例から学ぶ歯科の法律 第1版 第4刷・小室歳信・医歯薬出版 イラスト眼科学・大野重昭、澤充・医学書院 精神・神経科学：教科書は使用しないが、レジメのプリントを配布する。
参考図書	産婦人科：佐藤和雄 佐藤 和雄 藤本 征一郎 編 臨床エビデンス産科学・臨床エビデンス婦人科学 メディカルビュー社、丸尾 猛・岡井 崇 編 標準産科婦人科学 第3版 医学書院 小児科：最新育児小児病学<改訂第5版>：黒田泰弘（編）南江堂 小児歯科マニュアル（第4版） 前田隆秀（編）南山堂 精神・神経科学：カプラン臨床精神医学テキスト 第2版監訳／井上 令一・四宮 滋子、DSM - IV - TR 精神疾患の分類と診断の手引 新訂版 原著：American Psychiatric Association 訳：高橋 三郎／大野 裕／染矢 俊幸、ICD - 10 精神および行動の障害 臨床記述と診断ガイドライン監訳：融 道男／中根 允文／小見山 実、現代臨床精神医学 大熊輝雄 金原出版、標準精神医学 野村総一郎、樋口輝彦 医学書院
実習器材	なし
評価方法 (EV)	定期試験（多肢選択問題）によって評価点（100%）とする。
学生への メッセージ オフィスアワー	全人的医療という言葉が表すように、患者さんを取り巻く生理的、社会的、心理的、倫理的といった様々な要素を理解するためにも幅広い知識が要求されます。歯科医学を遂行する上で必ず役に立つときがきますので、集中して受講してください。 すべて、外部講師の方々です。礼節のある授業態度で臨んでください。

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
9月28日(水) 2時間 13:00 ~ 14:50	眼科学1(眼の解剖・生理、視機能と眼科検査)	【準備学習項目】 目の解剖と生理機能を説明できる。 【講義】 1) 視覚器の構成を述べることができる 2) 視機能について理解する 3) 基本的な眼内の解剖を述べることができる 4) 基本的な眼科検査を理解する	崎元暢
9月28日(水) 2時間 15:00 ~ 16:50	1. 総論 1) 法医学の歴史, 定義, 対象 2) 検屍と解剖 3) 日本における異状死体の取り扱い方 2. 生と死 1) 出生と死の判定効果 2) 生と死の判定時期	【準備学習項目】 法医学の定義について説明できる。 【講義】 ・法医学は、「法律上問題となる医学的事項を研究し、解決に寄与しようとする学問」である。ここで「法律上問題となる」「医学的事項」「解決に寄与する」とは何を意味しているかを理解する。 ・法医学の対象は、死体ばかりでないことを知る。 ・検屍の対象となる異状死体とは何か、また、どのような場合に法医解剖に付されるのかを知る。 ・我国における死体の取り扱いについて学ぶ。 ・ヒトはどの時点で生きる権利を認められるか。また、どの時点で死と判定されるのかを学ぶ。 </総-()-1- -a >	小室歳信
10月5日(水) 2時間 13:00 ~ 14:50	眼科学2(角膜・結膜疾患)	【準備学習項目】 角膜・結膜疾患について説明できる。 【講義】 1) 角膜の解剖生理について述べることができる 2) 代表的な角膜疾患・結膜疾患を理解する	崎元暢
10月5日(水) 2時間 15:00 ~ 16:50	3. 死体現象 1) 定義と法医学的意義 2) 早期死体現象 3) 晩期死体現象 4) 特殊死体現象 5) 死後経過時間の推定 4. 異常環境等による障害と死 1) 高温による障害	【準備学習項目】 死体の時間的変化を説明できる。 【講義】 ・死体に現れてくる様々な変化・現象を理解する。早期死体現象と晩期死体現象の発生機序と法医学的意義について理解する。 ・ミイラ化や死骸化現象について理解する。 ・死因や死体の環境などを考慮して死後経過時間を推定できることを学ぶ。 ・異常温度による障害・死亡の発生機序を理解し、とくに火傷死と焼死との死体所見の差異について学ぶ。 </総-()-1- -c >	小室歳信

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
10月12日(水) 2時間 13:00～14:50	眼科学3(眼瞼と眼窩の疾患、眼科救急疾患)	【準備学習項目】 眼瞼・眼窩の疾患について説明できる。 眼科救急疾患について説明できる。 【講義】 1) 眼瞼と眼窩の解剖について理解する 2) 代表的な眼瞼・眼科疾患を理解する 3) 代表的な眼科救急疾患について理解する	崎元暢
10月12日(水) 2時間 15:00～16:50	5. 損傷 1) 定義と用語, 法医学的意義 2) 法医学的問題点 3) 分類 4) 被虐待児症候群 5) 損傷による死因 6) 生活反応	【準備学習項目】 創傷とその法医学的意義について説明できる。 【講義】 ・人体に生じた創傷を観察し, その検査の法医学的意義について理解する。 ・創傷の数, 部位, 性状および程度などから, 自・他殺あるいは事故死の区別ができることを知る。 ・乳幼児や小児が親や保護者から繰り返し虐待を受け, それによって生じた外傷の特徴的性状を理解する。 ・損傷による死因について検討し理解する。 ・生体でなければ現れない所見(生活反応)と意義について理解し, 死後損傷と識別ができることを学ぶ。	小室歳信
10月19日(水) 2時間 13:00～14:50	眼科学4(水晶体と白内障)	【準備学習項目】 水晶体と白内障について説明できる。 【講義】 1) 水晶体の構造とその機能を理解する 2) 白内障の分類を理解する 3) 白内障手術の術式を理解する	崎元暢
10月19日(水) 2時間 15:00～16:50	6. 中毒 1) 中毒, 毒物の定義 2) 薬毒物の分類 3) 一酸化炭素・青酸 4) 農薬 5) 犯罪の成立要件 6) 薬物依存症	【準備学習項目】 農薬中毒・一酸化炭素中毒について説明できる。 【講義】 ・薬毒物の定義および薬理学的分類について学習する。 ・一酸化炭素, 青酸および農薬などの性質, 中毒作用機序および死体所見などを学ぶ。 ・犯罪の成立要件について学習する。「行為者の責任能力」の有無を, 正当防衛, 緊急避難, 心神耗弱, 心神喪失と関連つけて理解する。 ・耽溺性のある麻薬類, 覚醒剤等の代謝と排泄を学ぶ。 ・アルコール依存症の定義と症状, ならびに代謝と排泄について学ぶ。 ・薬物依存症者の犯法行為と法律の関係について学ぶ。 </総-()-1-Q>	小室歳信
10月26日(水) 2時間 13:00～14:50	眼科学5(緑内障、神経眼科)	【準備学習項目】 緑内障について説明できる。 視神経・眼球運動・瞳孔反応について説明できる。 【講義】 1) 緑内障の分類と眼圧上昇の機序を述べることができる 2) 緑内障の治療法を述べることができる 3) 散瞳が禁忌である緑内障について理解する 4) 視神経・眼球運動・瞳孔反応の生理と異常を理解する	崎元暢
10月26日(水) 2時間 15:00～16:50	7. 窒息 1) 窒息死の定義と分類 2) 窒息死の経過 3) 窒息死の特徴	【準備学習項目】 窒息死について説明できる。 【講義】 ・窒息の種々のタイプ(縊死, 絞死, 扼死など), 作用機序および窒息死体の剖検所見を理解する。 ・窒息死体の特徴を知り, 自・他殺あるいは事故死の区別を学習する。 ・歯科治療中の死と窒息との関係を学ぶ。	小室歳信
11月2日(水) 2時間 13:00～14:50	眼科学6(ぶどう膜炎、全身疾患と眼)	【準備学習項目】 ぶどう膜炎について説明できる。 全身疾患による眼障害を説明できる。 【講義】 1) 3大ぶどう膜炎について述べることができる 2) 全身疾患による代表的な眼障害を理解する	崎元暢

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月2日(水) 2時間 15:00～16:50	8. 個人識別 1) 個人識別の必要性・重要性 2) 生体および死体の個人識別 3) 白骨死体の個人識別 4) 大量災害死事故における身元確認 9. 歯科法医学 1) 歯科的所見の法医学的意義 2) 歯からの性別判定・年齢推定 3) 歯痕 4) その他、歯からわかること	【準備学習項目】 個人識別について説明できる。 【講義】 ・個人識別の定義について理解する。 ・白骨死体の個人識別において、頭蓋骨の形態観察による性別判定法と年齢推定法について理解する。 ・大量災害死事故における身元不明死体の個人識別の効果的な手順について学ぶ。 ・歯および歯科的所見の証拠物件としての価値を知り、それらの所見が身元確認になぜ有効なのかを知る。 ・歯の形態(大きさ、形)からの性別判定法を理解する。 ・歯の発生学的変化、生理学的変化、病理学的変化および物理化学的変化からの年齢推定法を理解する。 ・歯に関する損傷のうち、歯痕からの個人識別について学ぶ。 ・歯科的所見から職業、出身地、教養や生活程度などを推定できる場合があることを知る。	小室歳信
11月9日(水) 2時間 13:00～14:50	眼科学7(網膜硝子体疾患)	【準備学習項目】 網膜硝子体疾患について説明できる。 【講義】 1) 代表的な網膜硝子体疾患を理解する 2) 網膜硝子体手術の術式について理解する	崎元暢
11月9日(水) 2時間 15:00～16:50	10. 医療行為 1) 医療行為の定義 2) 医行為と歯科医行為	【準備学習項目】 医療行為について説明できる。 【講義】 ・業としての医療行為とはなにかを理解する。 ・正当な医療行為として認められるための条件(治療、医学的・社会的正当性、承諾)について理解する。 ・生体腎移植、正常分娩および美容整形手術などは医療行為といえるかについて検討する。 </総-()2-A-a>	小室歳信
11月16日(水) 2時間 13:00～14:50	小児科1 1) 小児の成長・発達とその異常 2) 先天異常・染色体異常	【準備学習項目】 正常な小児とは何かを理解し、異常な小児とを区別し説明することができる。 【講義】 ・小児の正常な成長と発達を理解し、説明することができる。 <必-4-A-a,b 総-()-1-C,D,E,Fすべて 同-3-A-2-a 同-3-G-a,b,c 総-()-3-A> ・成長障害と発達障害を理解し、説明することができる。 <必-11-A-b, 同-11-B-e 総-()-1-H-a 同--2-F 同-4-C 各-()-10-A-b 各-()-2-C-a> ・先天異常・染色体異常の代表的な疾患を理解し説明することができる。 <必-11-A-b 同-11-B-e 総-()-1-C-a,b,c 総-()-4-B 各-()-10-B-a>	宮本幸伸
11月16日(水) 2時間 15:00～16:50	11. 医療事故と法医学 1) ヒヤリ・ハット 2) リスクマネジメント	【準備学習項目】 医療事故について説明できる。 【講義】 ・医療の現場で起こった事故による最悪の事態は患者が死ぬことである。遺体は変死体と見なされ司法解剖に付されることを知る。 ・事故には至らないヒヤリ・ハット事例を収集・分析し、再発防止策を検討する。 ・医療事故からリスクマネジメント構築を理解する。 </総-()-2-F,G>	小室歳信
11月30日(水) 2時間 13:00～14:50	小児科2 1) 発疹を伴う小児の感染症 2) その他の小児のウイルス感染症と細菌感染症	【準備学習項目】 小児の感染症を理解し、説明することができる。 【講義】 ・発疹を伴う小児の感染症を理解し、症状と経過を説明することができる。 ・その他、小児の代表的な細菌感染症・ウイルス感染症を理解し、症状と経過を説明することができる。 <必-6-C-d,e 総-()-1-G-1-すべて 総-()-4-D 総-()-5-A,Bすべて 各-()-10-Cすべて 各-()-1-A-すべて 各-()-7-A-a>	宮本幸伸

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
11月30日(水) 2時間 15:00～16:50	精神・神経科学1	<p>【準備学習項目】 外因性、内因性、心因性精神障害について説明できる。</p> <p>【講義】 1. 医師・患者関係の心理学、疾病や治療に対する心理的反応、人格による心理的反応の違いについて理解し説明できる。 2. 外因性、内因性、心因性精神障害の分類について理解し説明できる。 3. 自殺の原因、手段、対応について理解し説明することができる。ストレスの成因、背景、対処について理解し説明することができる。 < /総 - ()-1-B-a ></p>	太田克也
12月7日(水) 2時間 13:00～14:50	小児科3 1) 出血をきたす小児疾患 2) 小児の気管支喘息と糖尿病	<p>【準備学習項目】 出血をきたす小児疾患を理解し説明することができる。その他、小児歯科治療に必要な疾患を理解し、説明することができる(特に気管支喘息・糖尿病)。</p> <p>【講義】 ・出血性素因を持つ血液疾患や急性白血病について症状と治療について理解し、説明することができる。 < 必-6-C-b,c 必-12-U-b 総 - ()-2-N 総 - ()-1-E すべて、-4-A,E 各 - ()-10-F-b,c 各 - ()-1-E-2-c,E-3 すべて > ・その他、小児歯科治療時に留意すべき小児科疾患について理解し、説明することができる。(とくに、気管支喘息と糖尿病について理解し、説明することができる。) < 各 - ()-10-D,E,G,H,I, J ,K のすべて 同 -F-a,d,e,f ></p>	宮本幸伸
12月7日(水) 2時間 15:00～16:50	精神・神経科学2	<p>【準備学習項目】 心身症について説明できる。 緩和医療について説明できる。</p> <p>【講義】 1. 精神疾患の症状、治療法、治療薬について説明し理解することができる。 2. 身体科入院中の患者に合併しやすい精神疾患を理解して説明することができる。緩和医療について理解し説明することができる。 3. 心身症の症状、精神・心理的な要因の関与、治療について理解し説明することができる。 < F-4-5) ></p>	野口海
12月14日(水) 2時間 13:00～14:50	小児科4 1) 小児救急疾患 2) 小児の処置と輸液療法	<p>【準備学習項目】 小児救急疾患の病態を理解し説明することができる。小児の輸液を指示することができる。</p> <p>【講義】 ・小児の救急疾患とその病態を理解し、処置について説明することができる。(特に小児の輸液療法に関して) < 必-6-A-a 必-10-A-a,b,c 同-10-B-a,b 必-12-H-a,b,c,d 総 - ()-2-A-c 総 - ()-1-A すべて 総 - ()-12-A すべて 同-13-A,B すべて 各 - ()-2-A-c ></p>	宮本幸伸
12月14日(水) 2時間 15:00～16:50	精神・神経科学3	<p>【準備学習項目】 睡眠障害について説明できる。</p> <p>【講義】 外因性精神障害、睡眠障害の症状、対応、治療について理解し説明することができる。</p>	織田健司
12月21日(水) 2時間 13:00～14:50	産婦人科1	<p>【準備学習項目】 女性生殖器の解剖と生理機能を説明できる。 妊娠について説明できる。</p> <p>【講義】 女性生殖器の解剖と生理、診察と治療、妊娠の診断方法 生殖器の解剖、生理を理解する。 婦人科領域の主な症状から診断、治療への流れについて理解する。 妊娠の診断と妊婦健診について理解する。</p>	永石匡司
12月21日(水) 2時間 15:00～16:50	精神・神経科学4	<p>【準備学習項目】 内因性精神障害について説明できる。</p> <p>【講義】 内因性精神障害(統合失調症圏)およびてんかんの症状、対応、治療について理解し説明することができる。</p>	太田克也
1月11日(水) 2時間 13:00～14:50	産婦人科2	<p>【準備学習項目】 正常の妊娠、分娩、産褥について説明できる。</p> <p>【講義】 妊娠、分娩、産褥(正常編、異常編) 正常の妊娠、分娩、産褥経過および産科手術を理解する。 異常妊娠、異常分娩、異常産褥について理解する。 (妊婦と歯科疾患の関連性について理解する。)</p>	永石匡司

日程	授業項目	授業内容・行動目標・学習方略(SBOs)(LS)・準備学習(予習)内容・コアカリキュラム・国家試験出題基準	授業担当者
1月11日(水) 2時間 15:00～16:50	精神・神経科学5	<p>【準備学習項目】 小児・高齢者の精神的特性、精神障害について説明できる。</p> <p>【講義】 小児・高齢者に特有の精神的特性、精神障害の症状、対応、治療について理解し説明することができる。 </各-()-2-C-a,各-()-2-B></p>	野口海
1月18日(水) 2時間 13:00～14:50	産婦人科3	<p>【準備学習項目】 婦人科領域の悪性腫瘍について説明できる。</p> <p>【講義】 婦人科の悪性腫瘍(主に子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌について) 子宮頸癌および子宮頸部異形成について理解する。 子宮体癌および子宮内膜増殖症について理解する。 卵巣癌について理解する。</p>	永石匡司
1月18日(水) 2時間 15:00～16:50	精神・神経科学6	<p>【準備学習項目】 てんかんについて説明できる。</p> <p>【講義】 てんかん、心因性精神障害の症状、対応、治療についておよび人格障害の特徴、対応、治療について理解し説明することができる。</p>	織田健司
1月25日(水) 2時間 13:00～14:50	産婦人科4	<p>【準備学習項目】 婦人科領域の良性腫瘍、月経異常、性感染症について説明できる。</p> <p>【講義】 婦人科の良性疾患(良性腫瘍、月経異常、性感染症など)良性腫瘍として卵巣嚢腫、子宮筋腫、子宮内膜症の診断、治療について理解する。 月経困難症、過多月経などの月経異常や不妊症、性感染症について理解する。 (婦人科疾患治療中の歯科疾患管理について理解する。)</p>	永石匡司
1月25日(水) 2時間 15:00～16:50	精神・神経科学7	<p>【準備学習項目】 感情障害について説明できる。 うつ症状を呈する疾患について説明できる。</p> <p>【講義】 1.感情障害(躁うつ病圏)の症状、対応、治療について理解し説明することができる。 2.うつ症状を呈する様々な疾患について、その病態、症状、対応、治療について理解し説明することができる。</p>	太田克也